

◆平成 30 年度決算委員会 自民党議員団 総括質問◆

令和元年 10 月 8 日に、自民党議員団を代表して総括質問を行いました。

(1) 特別区民税収入の見込み及び消費税率改正に伴う地方消費税交付金への影響について

答弁(区長) 特別区民税収入は、国の不合理な税制改正による減収の影響など、今後の動向に留意が必要。地方消費税交付金は、消費税率の引き上げに伴い、令和 2 年度以降に増収になるものと見込んでいる。

(2) 特別区交付金交付の今後の見通しについて

答弁(区長) 港区は不交付、港区の需要が反映されるように努力する。

(3) 今後の財政運営について

答弁(区長) 基金の積立や活用も積極的に行い、将来に向けて揺らぐことのない盤石な財政基盤を堅持していく。

(4) 保育園と幼稚園の定員の確保策について

答弁(区長) 計画的な保育定員の確保に努めていく。
答弁(教育長) 公私立幼稚園全体に必要な定員の確保に努めていく。

(5) 高齢者支援の充実と推進について

答弁(区長) 高齢者の世帯が抱える複雑な相談にも、より一層きめ細かく対応していくための相談体制充実など、高齢者に寄り添った施策を推進していく。

(6) 障害者の働く機会と場の確保について

答弁(区長) 障害特性に応じた多様な働き方を実現できるよう、働く機会や場の拡大に努めていく。

(7) 働き盛り世代の健康をトータルで守る取組について

答弁(区長) 今後は生活習慣病の早期発見・早期治療の取組や、様々な媒体を用いた知識の普及啓発を進めるとともに、多くの区民が働く区内企業の職域保険との連携を深め、働き盛り世代の健康を総合的に守る取組を充実させていく。

(8) 災害時の電気の確保について

答弁(区長) 蓄電池の性能も日々向上しており、今後も様々な手段を検討し、十分な非常用電源の確保に努めていく。

(9) 安全で安心して暮らすことができる地域づくりについて

答弁(区長) 犯罪が起きにくい環境の整備や、区民の生活安全意識の向上に積極的に取り組む。

(10) 自治体間連携の充実に向けた取組について

答弁(区長) 互いの地域の課題解決や活性化につなが

る全国連携の取組を一層充実していく。

(11) AI 等最新の ICT の導入の効果と今後の活用について

答弁(区長) 自治体最先端の ICT 活用を目指し、AI をはじめとした新たな技術の活用に積極的に取り組む。

(12) ナイトタイムエコノミーの取組状況や今後の展開

答弁(区長) 今後もまちの方々と連携し、安全・安心に配慮した港区ならではの取組を進める。

(13) 六本木商店街振興に向けた総合支所に関する支援について

答弁(区長) 地域に寄り添った支援をしていく。

(14) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に向けた取組について

答弁(区長) 区ならではのもてなしの取組を一層推進していく。

(15) 二酸化炭素の排出量の削減に向けた対策について

答弁(区長) 積極的に二酸化炭素排出量の削減を進めていく。

(16) 資源化率向上に向けた区の取組について

答弁(区長) 区民の皆さんにごみと資源を正しく分別していただけるよう、今後も様々な機会を捉えて、区の取組を分かりやすく伝えていく。

(17) 羽田空港や成田空港の機能を補完する新たな空港の整備を国や東京都に対して要請していくべき

答弁(区長) 地方空港のさらなる活用など、多くの観光客が地方を訪れる施策や、地方発展に寄与する航空政策の検討について、様々な機会を捉えて、引き続き国に要請していく。

(18) 学力向上に向けた ICT の積極的な活用について

答弁(教育長) これからの時代にふさわしい学びを支える ICT の利点を生かした教育を積極的に進めていく。

(19) 時代の変化に応じた幼児教育の推進について

答弁(教育長) みずから考え、判断することが求められる時代に即した幼児教育を推進していく。

(20) 区政運営の骨格をなす次期基本計画の策定の方針と姿勢について

答弁(区長) 地域の皆さんとともに港区の将来を考え、丁寧な議論を重ねながら、区民の安全と安心のもとに、地域共生社会の実現につながる安全な計画をつくり上げていく。